

【フロンティアスクール中間報告書】

(都道府県 長野県)

学校の概要

飯山市立飯山小学校(フロンティアスクール名)									
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	2	3	3	3	21	33
児童数	96	93	100	80	82	91	9	551	

実践研究の概要

1. 主題(テーマ)

基礎・基本の力を身に付けながら、子ども自ら追究を深めていく指導の在り方

2. 内容と方法

(1)実施学年・教科

- ・ 4年生算数(子どもの理解度に差が出やすい教科・学年である)
- ・ 6年生国語・算数(子どもの理解度に差が出やすい教科・学年である)
- ・ 2, 3学年算数(数と計算の領域における基礎基本の力の定着が今後の学習にとって大変重要になるため)
- ・ 3, 5学年社会科・音楽科・家庭科などで学年内教科担任制
(高い専門性を生かすため)

(2)年次計画

平成
14
年
度

テーマ

基礎・基本の力を身に付けながら、
子ども自ら追究を深めていく指導の在り方

仮説

- 1 基礎・基本の力と基礎的・基本的な学習内容をそれぞれ明確にして、単元目標や単元展開の中に位置付けて指導することによって、定着すべき内容が、一人一人の児童に確実に身に付く。
- 2 児童の実態や単元の学習内容に応じた学習形態・指導体制等を工夫することによって個に応じた指導ができ、学力が高まる。

研究内容・方法

1 研究内容

(1)仮説1にかかわって

客観的な学力診断検査や日ごろの授業における児童の学び方の実態を考慮し、各教科の基礎・基本の力と基礎的・基本的な学習内容を明らかにして、単元展開に位置付けて授業実践する。

- * 基礎的・基本的な学習内容...各教科の知識・理解、技能項目
児童一人一人に確実に定着すべき学習内容である。
- * 基礎・基本の力...各教科の関心・意欲・態度、思考・判断、考え方、感性・表現、知識・理解、技能項目

基礎的・基本的な学習内容を生かし、高めていく力である。

研究方法

- * 主に低学年の学力向上にかかわって、授業研究を積み重ねて事例を積み上げ、有効となりそうな手立てを導き出し、全校授業研究会でより確かなものにした。

(2) 仮説2にかかわって

児童の実態や学習内容に応じた学習形態・指導体制等の工夫

- * 客観的な学力診断検査や日ごろの授業における児童の学び方の実態を考慮し、加配教員や指導可能な教員も加えて、一つの学年を4～5つの少人数グループに編成したり学級を二分したりするなどして少人数学習集団による指導を行なった。
- * グループ編成は、単元の目標や学習内容に応じて、等質のグループにしたり習熟度別のグループにしたりして、児童一人一人の学力を伸ばすためにより有効な学習形態を探った。

研究方法

- * 5・6学年会が主体となって、特に算数にかかわる少人数学習集団による指導を計画・実践し、実践の中から効果的な学習形態や指導体制の在り方を探った。

平成
15
年
度

テーマ

子ども自ら追究を深めながら、

基礎・基本の力を高めていく指導の在り方

仮説

- 1 基礎・基本の力(つける力)を明確にし、さらに評価の観点・評価規準・評価方法を設定して授業に臨むことによって、個のつまずきや伸びている点を適切に評価して指導することができる。
- 2 習熟の度合いに応じた単元展開を工夫することにより、より個に寄り添った指導を行うことが可能となる。
- 3 習熟度別・課題別・目的別グループの少人数学習集団の指導において、単元の学習活動や定着すべき学習内容に応じて柔軟に適切な学習集団を組み換えながら学習展開をしていくことによって、より個に応じた指導が充実し、一人一人の力を伸ばすことができる。

研究内容・方法

(1) 仮説1にかかわって

基礎・基本の力と基礎的・基本的な学習内容に応じた評価の観点と評価規準を設定(単元展開と本時案の中に位置付ける)。

国語、算数を研究重点教科とし、授業実践研究を積み重ねて明らかにしていく。

(2) 仮説2にかかわって

高学年の算数科で算数的な活動の質的な研究を行った。具体的に

は、外的な活動と内的な活動の割合を習熟度や学習の深まりに応じて変化させるなどの取り組みを行った。

(3) 仮説3にかかわって

4学年、6学年の少人数学習集団における学習指導について、算数の研究重点単元を2・3単元設定し、その単元内での柔軟な学習集団の組み換えを試行して、実践を通して明らかにしていく。

平成
16
年
度

テーマ

子ども自ら追究を深めながら、

基礎・基本の力を高めていく指導の在り方

仮説

- 1 設定した基礎・基本の力と基礎的・基本的な学習内容とその評価の観点、評価規準を基に単元学習に取り組む中で、評価したことを生かした複線的な指導を行なうことによって、一人一人の実態に応じて、より確実に学力を定着させることができる。
- 2 習熟度別・目的別・課題別など、単元展開の中での学習活動や学習内容に応じて、柔軟に適切な学習集団を組み合わせながら学習展開をしていくことによって、より個に応じた指導が充実し、子どもの意欲を引き出しながら、一人一人の力を伸ばすことができる。

研究内容・方法

(1) 仮説1にかかわって

評価を生かした複線的な手立てを明らかにし、それを単元や本時の展開の中に位置付けて指導に当たる実践研究を積み重ねる。

(2) 仮説2にかかわって

4学年、6学年の少人数学習集団における学習指導について、算数および国語の研究重点単元を2, 3単元設定し、その単元内での柔軟な学習集団の組み合わせを実践的に試行していく。

対外的な研究会を持って、より望ましい少人数学習集団による指導の在り方について、広く示唆が得られるようにする。

(3) 研究体制

全校研究主任（研究推進の全体統括）

学力向上フロンティア事業研究主任フロンティア事業の推進）

国語科研究グループ主任

算数科研究グループ主任

国語科研究グループ

算数科研究グループ

メンバー；5・6人

メンバー；5・6人

学力向上フロンティア事業のための加配教員を含む

図 フロンティア事業に関する実践研究組織図

平成15年度の成果及び課題

成果

- ・複数教師による協力的な指導により、よりねらいに対して鋭角的な授業を行うことが可能となり、教材開発を行う時間が増加した。
- ・習熟度別、課題別の授業でも、コースごとによる単元展開の工夫が必要かつ有効であることが分かった。
- ・コース別の学習を進めていく上で、学級担任や実際に授業を行う教師との連携の場を明確にすることの必要性を確認することができた。
- ・ねらいに応じて学習集団を組み替えることにより指導体制の幅が広がった。
- ・子どもたちは少人数学習集団による授業を好意的に受け止めており、さらに自分のよさを伸ばすことができると感じていることが分かった。

課題

- ・子どもが授業を通して理解できたことや新たな課題を自覚し、次の課題とするために役立つ自己評価の在り方について研究を深めたい。
- ・学習課題の持たせ方や、学習の進め方を工夫して、さらに課題別コースの学習形態を研究したい。
- ・習熟度に応じたコース別の単元展開と算数的活動の関係についてさらに研究を深めたい。
- ・学習内容や子どもたちの実態から、複数教師による指導体制により授業を行う単元の位置づけを年間計画の中に明確に示していきたい。

学力把握のための学校の取組について

- ・NRT（全国標準診断的学力検査）の年1回の実施（4月）
- 学年によっては、NRTを年2回実施したり、年度末にCRT（観点別到達度学力検査）を実施したりしている。

フロンティアスクールとしての成果の普及について

平成15年度に公開共同参観授業を6学年国語科（飯山市・下水内郡）と4学年算数科（全県）にて実施した。

平成16年度より研究成果を、ホームページ上で公開することを検討している。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- | | | | | |
|----------------------|---|-------------------------------------|--|----|
| 【新規校・継続校】 | 15年度からの新規校 | <input checked="" type="checkbox"/> | 14年度からの継続校 | |
| 【学校規模】 | 6学級以下 | | 7～12学級 | |
| | 13～18学級 | <input checked="" type="checkbox"/> | 19～24学級 | |
| | 25学級以上 | | | |
| 【指導体制】 | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導 | <input checked="" type="checkbox"/> | T・Tによる指導 | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 一部教科担任制 | | その他 | |
| 【研究教科】 | <input checked="" type="checkbox"/> 国語 | 社会 | <input checked="" type="checkbox"/> 算数 | 理科 |
| | 生活 | 音楽 | <input checked="" type="checkbox"/> 図画工作 | 家庭 |
| | 体育 | その他 | | |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | | <input checked="" type="checkbox"/> | 有 | 無 |